



オーストラリアのエッセンスが3分で分かる
清水の

ニュースレター2012年12月号

豪援隊かわら版

世界ではじめのクリスマス(作詞・作曲:山内修一)

気高いまことのクリスマス 気高いまことのクリスマス 世界ではじめのクリスマスは ユダヤの田舎のベツレヘム 宿にも泊まれず家畜小屋で マリヤとヨセフの二人だけ 赤子のイエス様 草の産着 ゆりかご代わりにの飼葉桶 やさしい笑顔に見守られて 恵みの光が照らすだけ

※グローリア グローリア グローリア インエクセルシス デオ
不思議な光が空を照らし 野原のまきびと驚いて 御使い教えた ベツレヘムへ イエス様拝みに駆けだした 確かにおられた救い主だ まことに賢きみどりごじゃ 我らがイエス様拝めるとは 世界で一番しあわせよ キリスト探して博士たちは 東の国から遠い旅 星かげたよりにベツレヘム うまやでイエス様みいだした 尊きキリスト神の御子よ 御告げのとおりのお姿で 黄金 乳香 もつ薬など まごころ尽くしてささげましょう

※グローリア グローリア グローリア インエクセルシス デオ
世界ではじめのクリスマス 小さな小さなクリスマス けれども喜び満ち溢れた
「グローリア インエクセルシス デオ」これはラテン語で「いと高きところでは、神に栄光があるように」という意味です。新約聖書の中の「ルカによる福音書、2章14節前後を読んでみてください。

清水ヒデキ

豪援隊長・
弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

<今月の視点>

今年も、すでに12月ですね。年々時間が経つのが、早く感じられるのは筆者だけでしょうか。

オーストラリアでは、クリスマスシーズン中には、あまり仕事が進まないと言われますが、これ確かに本当の事です。

オーストラリアの学校は12月上旬に終業し、1月末の新年度まで夏休みです。2ヶ月近い夏休みの間に、年末年始のクリスマス休暇も入りますが、その時期に子供達の親も休暇を取って子供の面倒を見るという人が多くなります。そのため、この時期取引先に連絡をとっても「〇〇さんは、休暇を取ってまして、その件は〇〇が戻るまでは、何もできないのですが。」という返答を受ける事が多々あります。日本であれば、「けしからん！」という事になるのですが、オーストラリア人は「この時期は仕様が無いねえ」という事で受け止めてしまいます。大らかと言えば、そうですが仕事でこれをされると大変困ります。きちんと対応してくれるところだと、あとで担当者から「すいませーん、子供の面倒をみなくてはいけなくて休みをもらっています・・・」と連絡をくれますが、そうした対応をしてくれるところばかりではありません。

近くに家族が、住んでいて学校が休みの間、預かってもらえるという人達は問題ないのですが、周りにそういう家族がいなくて大変です。パケーションケアの様な施設も利用できるのですが、こうしたケア施設も安くはありません。

こちらの人達はクリスマスを家族が集まって祝う年中行事の中でも、とても重要な事としています。普段は行かない教会にも、この時期には礼拝に行く人も多いです。日本人のお正月の初詣と一緒にですね。その反対にクリスマスをお祝いしない人達もたくさんいるのが多民族国家のオーストラリアです。(そのために、ある学校ではメリークリスマスと言っただけでいい、季節のご挨拶と言わなければならないという学校もあります。)いろいろな人達がいろいろな思いを抱きながら、迎えるこの年の瀬を皆様元気にお迎えください。

<今月の注目記事 その1>

Ascot が \$45差で Hamilton に競り勝ち、QLD 州一の金持ち町となる

(2012年11月28日付 Courier Mail 紙より)

「QLD 州で一番お金持ちの町は？」という質問に対する決着が \$45差で Ascot という町になったという記事がでていました。

ブリスベン

Ascot \$90,945
Hamilton \$90,900
Bulimba \$74,206
Hawthorne \$73,928
Bardon \$73,579
Greater Brisbane \$48,895

Queensland 州その他

Moranbah \$75,662
Broadsound - Nebo \$64,814
Central Highlands - East \$61,361
Weipa \$58,958
Shoal Point - Bucasia \$58,404 (Mackay)



The Adoration of the Shepherds

Bartolomé バルトロメ
Esteban エステバン
Murillo ムリーロ
バロック期
スペインの画家



<今月の注目記事 その2>

オーストラリア労組スキャンダル:なぜそれが今関係あるのか、そして何を知っておくべきなのか。

2012年11月23日付 Courier Mail 誌より

ここ最近、オーストラリアの政界をにぎやかしているのが、あのギラード首相のスキャンダル問題です。それもさかのぼること17年前、まだギラード首相が弁護士として活躍していたころに起こった事件でした。それが、今になって世間を賑わすことになるとは、ギラード首相も予期していなかったことでしょう。

概略としては、弁護士時代から労働党員として活動していたギラード首相は当時付き合っていた彼氏の依頼を受けて贈賄資金を迂回してプールするためのファンドをいくつか設立する手続きをしていたというのが発覚したというのが、今回騒がれているスキャンダルです。この件については、ギラード首相も最初はそんなに昔のことを今更と若干平気な態度を取っていましたが、それが複数の関係者等の話も手伝ってか、現職総理大臣を巻き込むスキャンダルとしてメディアではさかんに取り上げられています。

今回の記事には17年も前のことがなぜ問われるのか、その理由について記者が述べています。

政治家の資質、そしてましてや首相として的人格として何が必要か、それは「判断力」と「信用」とその記者が述べています。その点において、今回のスキャンダルがギラード首相のそうした政治家、しかもリーダーとして資質の無さを露呈してと指摘しています。そのスキャンダルに関係していたか、どうかということよりも判断力の欠如により、こうしたスキャンダルに巻き込まれたこと自体が問題であり、これが来年の総選挙に良い影響を与えないであろうというのが、記事の概略です。

ただでさえ、支持率の低下が原因でリーダーとしての資質まで問われているギラード首相、この状況でこのスキャンダル問題が発覚したことは非常に大きな問題であることには間違いありません。選挙を控えた現段階では納得のできる対応をしなければ、それが選挙の結果につながるであろうと述べています。

スキャンダルというのは、どこの国の政治家にもあるんですね。

<今月の名言>

慰められるよりも慰めることを 理解されるよりも理解することを 愛されるよりも愛することを望ませてください。
私たちは与えることによって与えられ すすんで許すことによって許され 人のために死ぬことによって 永遠に生きることができるからです。 聖フランシスコ「平和の祈り」より

<今月クリスマスのジョーク！ パート1>

子供同士の会話

「サンタクロースって本当にいると思う？」
「馬鹿だなー、そんなの鬼とか悪魔とおんなじだよ。」
「どういふこと？」
「全部ママだもん！」

(ジョーク集より)

<今月クリスマスのジョーク！ パート2>

「姦計」

フロリダに住む80歳の男が12月のクリスマス前のある日、ニューヨークの息子に電話した。
「言いたくなかったんだが、母さんと問題があつてな。互いに我慢がならなくて離婚することにしたんだ。父さんは残された日々を平穩に生きたいんだよ。きょう電話したのは、父さんが家を出て、お前や妹がショックを受けないようにと思つてな」
息子は直ちに妹に電話をし、ニュースを伝えた。
妹は「私が何とかするわ」と答えた。
妹は直ちにフロリダに電話し父親に言った。
「兄さんと私がイブの夜そちらに行くから、それまでは何もしないで待ってて！」
父親は答えた。「わかつたよ、そうする」
父親は電話を切り、にっこり笑つてキッチンに行き、妻に優しく話しかけた。
「子供たち、クリスマスはここで過ごすそうだよ」

(ジョーク集より)

<今月クリスマスのジョーク！ パート3>

[サンタはパソコン野郎かもしれないその理由]

1. サンタはひげを伸ばし放題でも平気
2. サンタはぼっちゃり体型
3. サンタはいつも同じ服
4. サンタは意味なく顔が笑っている
5. サンタがにぎやかな街に出るのは、せいぜい年1回

(ジョーク集より)

このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！



ALC ビザコンサルタント

QLD 州以外の方にも、ご利用しやすくなりました！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite7, 155 Varsity Parade Varsity Lakes QLD 4227
シドニー 事務所 住所: 24 Lewis Way Newington NSW 2127

電話: 1300 365 811, +61-7-5630-6505, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

E mail : info@alcvisa.com Website : www.alcvisa.com

東京事務所 (担当: 生田・松本)

〒170-0013
東京都豊島区東池袋
4-25-12 池袋今泉ビル 6F

電話: +81-3-3985-6003

Fax: +81-3-3985-6009